

佐渡の森林資源利活用による 事業創出と開発に向けたセミナー

第2回 HAS推進セミナー佐渡

佐渡の森林資源の利活用については、ウッドデザイン賞審査委員長の赤池学氏をアドバイザーとし、関心のある市民の皆さんと意見交換をしてきましたが、今回、具体的な活動として、無農薬で管理されてきた桜山カントリークラブの跡地及び隣接する上横山共有林の「どんぐりの森」等と連携することにより、官民共創の森林資源の利活用による市民の wellbeing の向上や付加価値の高い商品開発、さらに災害対応の場とする等、地域の活性化に寄与するモデルケースとしての、持続可能な事業創出を目指して、「佐渡 FOREST BASE (SFB)」事業の研究会を発足することになりました。今回のセミナーでは、SFB事業の概要を説明し、商品開発で多くの実績のある赤池学氏より基調講演をいただき、SFB事業の具体的活動として考えられる「森林資源を活用した商品開発」、森林の豊かな水が育んだ地域の食材を使った「佐渡料理の開発」等のヒントを得て、みんなで佐渡にしかないモノを考えましょう。

ウッドデザイン賞：ウッドデザイン賞は「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの消費者視点から、優れた製品・取組等を表彰するものです

日程 2025年10月23日(木)
時間 13:30～17:00 (受付13:00～)
会場 アミューズメント佐渡 小ホール
定員 来場参加 100名
WEB参加 (Zoom) 100名

参加費
無料

PROGRAM

- 13:30～13:45 主催者あいさつ
- 13:45～14:15 SFB 事業の紹介
- 14:15～15:00 アテビを中心とした木材の商品化事例
吉井木材工業 水野社長
(休憩)
- 15:10～16:30 基調講演 赤池 学 氏
＜演題＞ 佐渡にしかない商品開発のヒント
- 16:30～17:00 交流会 (会場参加者)

プロダクトデザインの第一人者

講師紹介

㈱ユニバーサルデザイン総合研究所 所長 赤池 学 氏



1958年東京都生まれ。筑波大学第二学群生物学類卒業。ユニバーサルデザインを提唱した、米国ノースカロライナ州立大学デザインセンター長、ロナルド・メイス教授との交流を得て、デザイン・フォー・オールへのデザインノウハウを研鑽。1996年(株)ユニバーサルデザイン総合研究所を設立。ユニバーサルデザイン、サステイナブルデザインに基づく商品・施設・地域開発のプロダクトデザインを手掛け、現在に至る。グッドデザイン賞新領域デザイン部門長・副委員長、キッズデザイン賞、フードアクション・ニッポンアワード、生物多様性日本アワード、ウッドデザイン賞の各審査委員長を歴任。

現在、(一社)千年持続デザイン機構理事長、新潟県立自然科学館館長、青森県、山形県、富山県、石川県の、各ブランド委員長、観光戦略委員等を務める。

講演内容

- 「Design for ALL」から始まる価値あるデザインとは
- 赤池学が手掛けた産業デザインの事例
- 佐渡を活性させるために、事業者はベネフィットカンパニーを目指せ!!
- SDGs 概念による森川里海が連関する佐渡が誇る資源をベースとしたデザイン
- 佐渡の木「アテビ」を使った商品開発のヒント
- 佐渡料理「金山御膳」の開発の方向性
SFB 事業研究会スーパーアドバイザーとして SFB 事業へ期待すること

申込期限：令和7年10月20日(月) 必着

参加希望の方は、裏面の「参加申込書」を記載のうえ、E-mailまたはFAX・郵送にて一般社団法人 健康ビジネス協議会までお申込みください。

主催 |



一般社団法人 健康ビジネス協議会

〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル 10 階

後援 |

佐渡市

お問い合わせ先 | 事務局担当/河合 TEL.025-246-4233 (平日9時～17時30分) URL. <https://kenbikyoku.jp>

このセミナーは、新潟県の令和7年度健康ビジネス付加価値向上支援事業により実施するものです